

茨城 全研ニュース #2

認知症の人と家族への援助をすすめる
第35回全国研究集会 in 茨城

公益社団法人 認知症の人と家族の会 茨城県支部
事務局／〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15-1
(牛久市保健センター隣)
TEL/FAX 029-828-8089
E-mail Alz2010ibaraki@yahoo.co.jp

今年の全国研究集会はつくば国際会議場で開かれます。



今年の全研が行われるつくば市は、茨城県の県南地区にあり、水郷筑波国立公園の一角を成しています。写真は北条大池から臨む筑波山です。つくば市及びその周辺は、四季折々の自然に恵まれた、インスタ映えのする地域でもあります。研究学園都市を中心とした、最先端の科学技術を身近に感じる地域でもあります。

今年の研究集会は、その研究学園都市地区の中心部にある「つくば国際会議場」で行います。国際会議場は、つくばエクスプレスやバスが到着するつくばセンターからの遊歩道沿いにあり、春は桜、秋は紅葉を見ながら歩いて行けます。

今年は「つなぐ」をテーマに、当事者たちと周辺の方々との繋がり、家族と行政との繋がり、医療と福祉との繋がりなどについて考えていきたいと考えています。そこで今回は、本県で「男性介護者の集い」を主宰している直井、山口両氏にお話を伺いました。

・現在、年数回行われている「男性介護者の集い」について

「もっとやって欲しいと言う声は結構多いです。男性同士の方が話しやすい内容もありますし、自分自身の健康も気になるんですね。」



・地域との繋がりについて

「介護者や被介護者とその周辺の人達との壁がとても大きいと感じます。まだまだ認知症に関心を持っていない人も多いです。こちらが認知症介護をしているのを分かっているが、よそを向いてしまう人も多いんじゃないですか。」

・認知症サポーターについて

「申し訳ないけれども、現時点ではサポーターの活躍が殆ど見られないですね。サポーターと当事者との繋がりが無いに等しい。サポートしてくれる事に何かメリットが無いといけません。逆に、こちら側がサポーターの人達に何をして欲しいかもきちんと分かっているのが問題じゃないかな。」

・啓蒙について

「むしろ情報が氾濫していると言ってもいいほどだが、関心は予防の事ばかりですね。」

“つなぐ” ～認知症の人とその家族が地域の人と共に生きる社会～

2019年10月27日(日)9:30~15:30

つくば国際会議場(〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3)

会場へのアクセス (詳細は追ってお知らせ致します)

●鉄道 (東京方面から)

〈つくばエクスプレス〉秋葉原 (始発駅) → つくば (終着駅)

〈常磐線〉 上野 → 土浦 (又は荒川沖) → つくばセンター (バス)

●高速道路

〈常磐自動車道〉 土浦北インター

〈圏央道〉 つくば中央インター

●飛行機

羽田空港・成田空港・茨城空港の何れからもバスがあります

上記のテーマを踏まえ、実践や体験を募集しています。

◆ 発表時間:口述発表 15分程度

◆ 応募方法:発表テーマとその内容(約1,000字程度)、住所、氏名、年齢、職業を明記して、メールまたは郵便でお寄せください。(締切:2019年6月20日)

◆ 応募先:E-mail:office@alzheimer.or.jp,

郵送:〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下る仲之町 519 番地

京都社会福祉会館内

「家族の会」本部事務局 全国研究集会事例発表係